

Title	母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究 第5号 編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究. 5 p75-p.75
Issue Date	2009-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/25038
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

ようやく『MHB研究』第5号を発刊することができたことを感謝したいと思います。本号では「バイリンガル、バイリテラシーを育てるために その2」のテーマで、最終的に掲載された2本の論文の情報量と分析の質を見ても、この分野に資することの多いものを選ぶことができたと思っています。

「書評」で取り上げた文献 (García *et al.* 2006) は、個人では読み切る事が難しくても、読書会で取り上げられれば何とかなるし理解が深まるというものでした。前号に引き続き、読書会の取巻に参加者だけに留めておくのはもったいないので、より多くの方々と共有することにして掲載したものです。この一冊分が参考になるだけでなく、今後の読書会活動もさらに充実したものになることを願っています。

読書会活動も含め、本研究会の第17～21回の研究会活動も掲載しましたが、いずれも熱心に取り組む企画運営担当者の尽力と、積極的な参加者によって支えられてきたことがよくわかる充実したものだったと、手前味噌も含めて述べておきます。今年は関西での研究会活動が活発にできたのも良かったと思います。

国内外を問わず経済危機が叫ばれる中、ご多分に漏れず問題のしわ寄せをくうのは、社会的に最も弱者である外国人児童生徒です。生活が大変だからと言って、子どもたちの言葉の習得や言語教育は中断されてはなりません。私たち一人一人が、自分にできることの見直しを迫られていると思います。

本号は、慣れない編集委員2人で、まわりのいつも変わらぬ心強いサポートを得ながら、ここまでこぎつけることができました。諸先輩理事の方々や、執筆者の皆様、そして編集・印刷の労を取ってくださった津田絢子さんにお礼を申し上げます。編集委員は次号も続投することになったので、よりよい第6号が出せるよう、会員の皆様の意欲的な投稿をお待ちしています。

MHB研究会企画担当理事 編集委員 真嶋 潤子

母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究 第5号

2009年3月31日 発行©

発行者：母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究会

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 言語教育研究所内

Tel. 042-797-2016 Fax. 042-797-1887

URL. <http://www.mhb.jp> (ホームページ)

印刷所：有限会社 津田印刷 〒606-0002 京都市左京区岩倉中大鷲町14